

札幌市議団ニュース

2011年11月2日 No.50

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

第3回定例議会 決算特別委員会・論戦特集 ⑧

<伊藤議員> すべての避難所に備蓄物資を配置せよ

札幌市は、備蓄物資をすべての避難所に配置することを拒みつづけています。市のいう拠点配置→災害時運搬方式で、氷点下15度に冷え込む真冬の札幌で、本当に市民の命を守ることができるのでしょうか。

伊藤議員は、この問題を取り上げ「2つ方式の違いを検証すべく、シミュレーションを行ったことはあるか」と質したのに対し、**山崎危機管理対策部長**は「その差を検証したことはない」と答弁。**伊藤議員**は「市民の命最優先で一人の犠牲者も出さないこと＝すべての避難所に備蓄物資を配置することが基本だ。危機管理対策室がいう効率的とは何を基準に考えているのか。何もない避難所で物資の届くのを待っているのと、少しでも体を温める毛布とがあったら障がい者や高齢者、子ども、怪我をした人たちの命を守ることにつながるのではないか。その差は、生死をわける大きな違いだ」と迫りました。

山崎危機管理対策部長は「回収ということを考えれば、拠点方式の方が効率的＝回収の手間がかからない」と本音を明かし「弱者を無視しようとは考えていない」と弁解しました。

伊藤議員はさらに、宮川議員の教育委員会との質疑（25日決特）を取り上げ、「教育委員会は備蓄物資の配置について『要請があれば可能な限り協力する』（梅津学校施設担当部長）と言明している、すぐにお願いすべきではないか」との質問に、**山崎部長**は「教育委員会と連携をはかりながら、できるだけ多くの小中学校に備蓄物資を配置していく」と答弁しました。

伊藤議員は「いつ大地震が起きるかわからないなか、もうすぐ冬を迎えます。行政として厳冬期の最悪の事態を想定した時、二次災害で一人の犠牲者も出さない、市民の命は絶対守る＝すべての避難所に配置するという考え方・決意をしっかりとって、そのためにどうするか、どうすればすべての避難所に配置できるのかという検討を行なっていくべき」と求めました。

山崎危機管理対策部長は「小中学校に重点的に配置していきたい。現在75校に配置しているが、これを100校、200校と拡大していきたい。検討委員会を立ち上げ、どういう配置が効率的かだけでなく効果的か、方針整理をしたい」と答弁。**伊藤議員**は「危機管理対策室としては“一人の犠牲者も出さない”という役割を持っていることを重く受け止め、すべての避難所へ備蓄物資が配置できるようにしっかりと！」と結びました。（10/27）

<井上議員> コミュニティ型建設創出事業の今後の方向

井上議員は、コミュニティ型建設創出事業が「廃止を含む見直し」と事業仕分けされた問題を取り上げ、「この間の実績を見ると、除排雪、リフォーム（内装、外装）、水回り、造園などの要望が強いことがわかる。介護関係の項目も3件ありますが、地域で暮らす在宅の高齢者も多いし、少子高齢化が急速にすすむ
⇒ 裏面につづく

なか、これからは介護関係の需要（手すり、段差の解消やドアの取替など改修要望）が増してくると思う。この10月からは介護保険の受領委任払い制度（1割負担）もスタートする。介護分野における事業の拡大をどう考えているか」と質問に、**本間産業振興部長**は「この事業の性格からいって、今後、介護関係の市場は拡大すると考えている。福祉分野への対応も、周知を含め関係する方々に大いにすすめていく」と答えました。

井上議員はつぎに「開始から7年が経過したコミュニティ型建設創出事業は、地域に根ざした建設業の新たな展開として注目され、「利用者にとって良い仕事だ」「悪徳業者が多いなか、安心感がある」「事務局がいてくれるので安心して業者選びができる」の声が寄せられています。本市は、事務局の会議に参加しているとのことだが、地元へ貢献し、地域に根ざしてこの事業に参加している企業の声などもぜひ把握して、事業に生かすようにしてほしい」と質しました。

本間産業振興部長は「事務局会議への参加、企業との意見交換会でも、リピーター客ができた、優れた技術を持った企業からの助言や連携、市民への貢献、地域との一体感など高い評価を受けている。今後は、広報や情報提供の充実により、高い満足度の得られる事業として、市民へのいっそうの浸透をはかりたい。また最近独立した企業グループが、これまで培ったノウハウを生かして地域に密着した事業展開する新たな動きも生まれており、地域と一体となり自立していけるように事業のあり方も検討していく」との答弁に対し、**井上議員**は「本市として、企業グループが自立をめざして独立し、地域で仕事を続けていけるように体制も強化し、しっかりと見届けていただきたい」と結びました。（10/27）